

# twitter小髭作品集

【手約投稿】

## 第1話 花屋

---

彼女と喧嘩となり、家に帰った彼、PCを立上げ、TLを見る。そこには、彼自身のツイート。  
『花言葉：ラズベリー 深い後悔、愛情』それは、花屋を営む彼が週末に、翌週一週間の花言葉として予約投稿したもの。『謝罪』・・・花言葉は無い。明日直接伝えよう。

## 第2話 誕生日

---

TLに「誕生日おめでとう！」の文字が表示される。そう、今日は彼の誕生日。彼女から彼宛てのツイート。彼の顔に何とも複雑な表情が表れる。彼女はもうこの世にいない・・・

### 第3話 プロポーズ

---

仕事の関係で朝の早い僕に、彼女は毎朝、おはようのツイートを呟いてくれる。今日、そのな彼女にプロポーズした。＜・・・＞単純だけど純粋な彼、私はそんな彼のプロポーズを受けようと思う！

## 第4話 最後の弦き

---

最後の弦きを投稿した。「この弦きが表示されるころ・・・さようなら」と。・・・意識が晴れてくると病室にいた。退院後、ツイッターには多くのDMがあった。「早まるな・」「考え直せ・」最後の方に「助かったんですね！人生の再出発を祝福します！」

## 料理

---

古代インド、男がいた。男は熱病に苦しんでいる人々の為に、熱病に良いとされる香辛料をたっぷり使った料理を作って与えた。男の名はゴータマ・シッダルダ、釈迦である。これがカレーの起源と言う説がある。